

**[抄録様式]**

<p>公益財団法人 8020 推進財団 平成 23 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>	
1.	事業名：地域住民と歯科医療従事者とが共に考える新しい学校作り
2.	申請者名： 申請団体名：香川県歯科医師会（会長 豊嶋健治）
3.	実施組織： 主催：香川県歯科医師会、香川県歯科医師会立香川県歯科医療専門学校 共催：香川県栄養士会
4.	事業の概要： 近年、歯科医療を支える若手の歯科衛生士・技工士が減少している状況に、危機感を抱く歯科関係者が多く認められる。そこで、学校施設を県民に開放し、学生教育の一端から実際の臨床現場での応用に至るまで、ここで学ぶ学生が社会にどのように貢献するのか、一般の人に馴染みの深い「食への支援」を例に取り上げ、県民に分かりやすく紹介。学校施設を使った歯科啓発活動を定着させると同時に県民の意識を調査。今後の学校のあり方や歯科教育にも役立てる。
5.	事業の内容： 専門学校で 8020 県民公開講座「みんなで『食』の問題について考えてみませんか？」と題して、「食べることは生きること一元気は『食』からー」「食べることを育むー赤ちゃんからお年寄りまでーライフステージごとの食べ方を知ろうー」の 2 題について講演を実施。また、無料歯科相談も実施。参加対象は地域住民、小学校養護教員、養護学校教員、8020 協力会員（過去に歯科医師会の講演を受講した県民）等とし、地方新聞にコラム・講演案内 6 回掲載、学校周辺 2000 世帯へのチラシのポスティング 3 回、教育委員会および協力会員への案内状・チラシ送付により参加者を募集した。結果、一般県民 73 名、学校関係者、学生等合わせて 144 名が受講。次年度の事業計画のためアンケート調査も実施した。
6.	実施後の評価（今後の課題）： 参加者へのアンケート結果では、講演内容に対する評価は高く、概ね満足して頂いた。新聞へのコラムも歯科啓発、学校 PR に役立ったと考えている。講演内容については、テーマは良かったが、もっと歯科衛生士・歯科技工士の食育、あるいは、食の問題への関わりを強調するなど、地域へ学校の存在意義を理解してもらったり、学校を評価してもらったりできるような内容を工夫したい。また、今年度は準備が間に合わなかったが、学園祭が開催できれば、地域の人へ学校がもっと開放され、学校をよりよく知ってもらったり、生徒との触れ合いも期待できる。講演、コラム掲載にとどまらず、学校紹介や展示のコーナーをもっと充実させたい。